

香川県の持続可能な未来を切り拓く 先進農業・畜産・水産業者等に注目！

香川県では、県内で先進的、特長的な取組みを行っている農業者、畜産業者、水産業者等の頑張っている姿を取材していただきたいと思います。これらの方たちは、新たな技術や手法を導入し、地域の発展と持続可能な産業の確立を目指して日々努力を重ねています。

報道を通じて生産者の活動が広く紹介されることで、支援の一助となり、県内での横展開が図られることを期待しています。多くの生産者の努力と熱意を是非取り上げてください。(★は今回新規掲載)

※取材に関するお願い

◎取材いただける場合は、各担当課までご連絡いただきますようお願いいたします。

1 農業者

No	分野	法人名など	取 組 み	担当課
1	スマート農業	株式会社 尾野農園 (善通寺市)	◆栽培管理の機械化等／GAP認証の取得 ネギ、ブロッコリー等を栽培。栽培管理、出荷調整の機械化を図るほか、アグリノートや伝票システムを活用し、効率的なほ場管理や出荷作業の省力化にも取り組む。 農薬等の適正使用や消費者の信頼性の確保等に寄与する国際水準(農業生産工程管理：GAP)のうち ASIAGAP の認証を取得済み。 	農業経営課 普及・研究 Gr 担当：山下(内 3752) TEL087-832-3404
2	スマート農業	合同会社 前川ファーム (高松市)	◆生産方式革新実施計画の香川県第1号認定 水稻・麦作(二毛作)を栽培。スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の香川県第1号認定を受け、今後、スマート農業技術と新たな生産方式を導入し、更なる生産性向上を図る。R7 に収量センサー付きコンバインを導入。 	農業経営課 普及・研究 Gr 担当：山下(内 3752) TEL087-832-3404
3	スマート農業	株式会社 讃久農園 (観音寺市)	◆ICTシステムの導入による見える化 約2.4haのイチゴを栽培し、香川県が開発したICTシステム「さめきファーマーズステーション～みんなの農業記録～」を導入してハウス内環境の見える化に取り組んでいる。 	農業経営課 普及・研究 Gr 担当：山下(内 3752) TEL087-832-3404
4	スマート農業	上野 雅昌 風呂 剛史 (さめき市)	◆ミニトマトでのデータ駆動型農業の実践 栽培施設内の環境データを基に管理し、データ共有と環境制御技術の改善を検討し、収量と品質を向上。個々では計画的に経営規模を拡大。収穫後のパック詰めはJA選果場にアウトソーシングしている。※取材時期：11月～2月頃	農業生産流通課 野菜 Gr 担当：松浦(内 3776) TEL087-832-3422
5	環境にやさしい農業	佃 和幸 (高松市)	◆みどり認定取得者 牛ふん堆肥の施用による土づくりと有機質肥料の施用や生物農薬等の利用、太陽熱消毒の実施などによる化学肥料、化学農薬の使用低減に取り組んでいる。また、生産物は自身で作ったみどり認定に関するオリジナルマークが入った個包装に充填し、その取組を消費者に伝える工夫をしている。	農業経営課 環境・植物防疫 Gr 担当：十川(内 3746) TEL087-832-3411

No	分野	法人名など	取 組 み	担当課
6	環境にやさしい農業	有限会社 ファーム寒川 (さぬき市)	◆みどり認定者(環境にやさしい農業) 稲わらや麦わらのすき込み、牛ふんと豚ふん混合堆肥の使用、温湯種子消毒や生物農薬を活用し、化学肥料と農薬の使用を低減した米づくりを実施。 	農業経営課 環境・植物防疫 Gr 担当: 十川(内 3746) TEL087-832-3411
7	有機農業	矢野 耕平 (綾川町)	◆みどり認定者(有機農業) 土壌分析に基づく緑肥のすき込みや防草シートを利用し、化学肥料と農薬を使わない有機農業を实践。県内の有機農業の推進団体である「さぬき有機の里」に所属し、丸亀市の学校給食に有機農産物を提供。	農業経営課 環境・植物防疫 Gr 担当: 津田(内 3747) TEL087-832-3411
8	有機農業	砂岡 恒 (まんのう町)	◆みどり認定者(有機農業) 牛ふん堆肥の施用や緑肥など有機物のすき込み、防虫ネットやフェロモントラップ等の利用による化学肥料や化学農薬を使用しない有機農業に取り組んでいる。	農業経営課 環境・植物防疫 Gr 担当: 津田(内 3747) TEL087-832-3411
9	有機農業	TAGATAME (さぬき市)	◆「さぬき讃ベジタブル」認定生産者 若手生産者グループが有機栽培で多品種の栽培を行う。季節の野菜、ハーブ、エディブルフラワーやマイクロリーフを取り合わせ、お野菜セットとして販売。ふるさと納税でも好評を得ている。 若い世代に農業を知ってもらうため、大学生を対象とした出前授業を行う。「みどり認定」と「さぬき讃ベジタブル」の認定を取得。 	農業生産流通課 農産物ブランド推進 Gr 担当: 則包(内 3772) TEL087-832-3417
★ 10	有機農業	堀家 多加子 (善通寺市)	◆みどり認定者(有機農業) 緑肥のすき込みや微生物資材を活用した土づくりを行うとともに防虫ネット等の利用により、化学肥料や化学合成農薬を使用しない有機農業に取り組んでいる。主力のニンジンでは様々な色を栽培し、販売先の需要にこたえている。 有機 JAS 認証取得の生産者。	農業経営課 環境・植物防疫 Gr 担当: 津田(内 3747) TEL087-832-3411
★ 11	就農支援	株式会社 スカイファーム (高松市)	◆新規就農者の里親 いちご栽培で、新規就農者の里親として研修生を受け入れ、栽培や販売等の研修を行っている。また、農地や栽培施設の確保についても積極的に支援しており、令和8年4月には、2年間の研修を修了した1名が独立就農した。	農業経営課 担い手支援 Gr 担当: 久保 (内 3755) TEL087-832-3406
12	就農支援	有限会社 藤川果樹園 (観音寺市)	◆新規就農者の里親 柑橘を栽培。新規就農者の里親として、県外の就農イベントに参加し、全国から就農希望者を受入れて研修を行うとともに、独立就農に向け、自身の園地を譲りつつ、継続的な技術指導を行うなど、就農者の早期経営確立を支援。 	農業経営課 担い手支援 Gr 担当: 久保 (内 3755) TEL087-832-3406
13	地域商社	株式会社 azemichi (高松市)	◆「さぬき讃ベジタブル」認定生産者 農作物の生産だけでなく、卸業も行い、地域の生産者と量販店等をつなぐ地域商社として活動。量販店等のニーズ・規格をこまめに生産者にフィードバックし、品質確保、販路拡大に努めている。地域の生産者と「さぬき讃ベジタブル」の団体認定も取得。 	農業生産流通課 農産物ブランド推進 Gr 担当: 則包 (内 3772) TEL087-832-3417

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
14	県オリジナル品種の育成	空井農園 (小豆島町)	◆オリーブ新品種の栽培・加工に先進的に取り組む 令和2年度より「香オリ3号」「香オリ5号」の栽培に先駆的に取り組み、令和5年に初収穫を迎えた。 自社農園で収穫した果実を絞ったオイルや塩漬けを製造販売しており、特にオイルは消費者からの評価が高く、ネット販売においても即完売するなど、品質の高さは折り紙付き。令和8年度に国際品評会において、新品種のオイルで全国初受賞。また、オリーブ栽培体験者の募集など、新規就農者への支援も積極的に行っている。 	農業生産流通課 果樹・オリーブ Gr 担当: 植田 (内線 3792) TEL087-832-3420
15	県オリジナル品種の育成	農事組合法人 香花園 (高松市)	◆カーネーションの新品種の育成 県等と共同でカーネーションの新品種育成を行い、「ミニティアラ」シリーズとして 5 品種を登録(現在 3 品種が維持)。これらの品種は県内外で周年出荷されている。	農業生産流通課 花き・盆栽 Gr 担当: 宮原 (内線 3791) TEL087-832-3419
16	県オリジナル品種の育成	株式会社 F.U.KAGAWA (三木町)	◆葉物の新品種の育成 ユニークな切花・枝物・葉物生産を行っており、フラワーオブザイヤーOTA2023 で新品種奨励賞を受賞している。現在品種登録出願中のキイチゴの「いろは」は自身で選抜したオリジナル品種で、丸みを帯びた小さい葉と、節間が短いことが特徴。花屋からは、日持ちが良く、使い勝手も良いと評価されている。 	農業生産流通課 花き・盆栽 Gr 担当: 宮原 (内線 3791) TEL087-832-3419
★ 17	品種・技術	綾坂地区アスパラガス部会 (坂出市)	◆県オリジナル品種「さぬきのめざめ」の育成 品種の特長を生かし、他県では見られない 50cm のロング規格に加え、30cm や 25cm の束など多彩な商品を展開することで、他産地との差別化を図っている。全国的に高齢化などで栽培面積が減少する中、出荷支援や防蛾灯などの新技術の検証にも積極的に取り組んでおり、30～40 代の若手生産者も多いことから、栽培面積は増加傾向にある。 ※取材時期: 2月中旬～4月中旬頃	農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422
★ 18	六次産業化	アスパラ農園 のぐふあーむ (高松市)	◆アスパラ農家の作る自社製の「赤かぶドレッシング」 アスパラガス県オリジナル品種「さぬきのめざめ」の栽培・販売に加えて、ズッキーニ、ジャガイモ、ブロッコリーなどにもとりくむ地域の中核を担うアスパラガス生産者がドレッシングを開発。ライオン通りのレストランで腕をふるっていた小川翼シェフ監修のもと、赤かぶドレッシング「のぐッシング」として販売。	農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422
19	地域野菜	三豊ナス研究会 (三豊市)	◆三豊ナスのブランド化にむけた取り組み 約 15 名のメンバーがオリジナルキャラクターを制作し、スーパーでの試食や給食への積極的な供給などの販促活動を行っている。過去には三豊市や笠田高校とも共同で PR を実施。 ※取材時期: 7月～9月頃 	農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422
20	循環型農業	MITOYO MORINGA (三豊市)	◆特徴的な農薬・化学肥料不使用農産物の加工販売 モリンガを使った加工販売を行う。モリンガはノンカフェインで抗酸化作用があり、インドの伝統医学アーユルヴェーダで 300 もの病気を予防するとされる。地場の岡本焼を使用し、栽培には地元堆肥を使用して地域循環型農業に取り組む。 	農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
21	農福連携	Hata くらす (観音寺市)	◆障害者施設が県オリジナルアスパラガスを栽培 平成 28 年に観音寺市粟井町で設立された障害者就労継続支援 B 型事業所。圏域内の事業所不足(障害者の行き場が無い)、地域の農作業の担い手不足などの地域課題を解決するという理念を持って設立された。現在、登録者 20 名ほどが農作業を行っている。 当事業所が、障害者が周年で取り組める作業を創出するため、自身でもほ場(農業用ハウス)を構え県オリジナルのアスパラガス栽培を開始した。	 農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422
22	農福連携	香川県社会 就労センター 協議会 (高松市)	◆協議会が県内の農福連携をマッチング 全国に先駆けて、平成 23 年より農福連携のマッチング事業を行っている。農業者側が協議会に作業委託をすると、就労支援施設にその情報が共有され、障害者が農作業派遣される。これによって農福連携に取り組む最初のハードルを下げた功績は大きいものであり、過去に国が主催しているノウフクアワードコンテストの受賞歴もある。	 農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422
23	農福連携	琴平町社会 福祉協議会 (琴平町)	◆県産ニンニクを用いた農福連携による加工品 民間企業の提案で、琴平町特産のにんにくを使ったにんにく油の製造を農福連携で開始。「ガリック娘」として販売し 2015 年にソーシャルプロダクツ・アワードを受賞している。	 農業生産流通課 野菜 Gr 担当: 香西 (内 3776) TEL087-832-3422
★ 24	輸出の推進	大平やさい 株式会社 (観音寺市)	◆国内の人口減少を見据えたレタス等の海外輸出 シンガポールや香港などへのレタスやタマネギの輸出に取り組んでおり、GLOBAL G.A.P.の取得や真空予冷装置の導入による品質保持をとおして、付加価値の向上を図っている。さらに、計画的に輸出を進めるため、輸出事業計画について大臣認定を受けている。	 農業生産流通課 ブランド Gr 担当: 則包、平井 (内線 3772)

2 畜産業者

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
1	乳用牛	有限会社 赤松牧場 (高松市)	◆最先端の施設による生乳生産、耕畜連携の推進 最先端の牛舎や搾乳施設で生乳と良質な堆肥を製造し、近隣農家と耕畜連携を実施。自家製生乳や地元の野菜・果物を使ったジェラートやチーズを製造販売している。	 畜産課 生産流通 Gr 担当: 川崎(内 3814) TEL087-832-3427
2	乳用牛	有限会社 藤川牧場 (高松市)	◆酪農における六次産業化への取組み 自家産の生乳を使用し、牛乳、ソフトクリーム、ヨーグルト、チーズを製造・販売。バターやチーズ作り体験などを実施し、消費者の酪農や乳製品に対する理解度を深めることを推進。	畜産課 生産流通 Gr 担当: 川崎(内 3814) TEL087-832-3427
3	乳用牛	有限会社 広野牧場 (三木町)	◆酪農における六次産業化への取組み 自家産の生乳を使用したジェラートショップ、ピザ屋を経営。国内外から年間約 40 人のインターンシップを受け入れ、酪農教育ファームにも力を入れている。	 畜産課 生産流通 Gr 担当: 川崎(内 3814) TEL087-832-3427

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
4	肉用牛	山種易産業株式会社 (高松市)	◆受精卵を活用した肉用(オリーブ牛)子牛の生産 交雑種雌牛に和牛受精卵を移植し、効率的な和子牛生産体制を確立。牛群管理システムや分娩監視システムなどのスマート機器を導入し、1,000 頭以上の牛を効率的に管理している。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 久保(内 3824) TEL087-832-3429
5	肉用牛	石井正樹 (土庄町)	◆オリーブ牛誕生までの努力と情熱 オリーブ飼料の考案、オリーブ牛の誕生のすべてを知る人物。「讃岐牛」に新たな息吹を吹き込んだオリーブ牛は全国に知られるブランド牛となった。	畜産課 生産流通 Gr 担当: 瀬尾(内 3812) TEL087-832-3429
6	乳用牛・肉用牛複合経営	有限会社 森末牧場 (まんのう町)	◆効率的受精卵生産体制の確立 受精卵凍結器を導入しコストカットを実現、効率的な受精卵生産体制を確立。高能力受精卵を安価で県内農家に販売し、生産基盤の強化に貢献している。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 久保(内 3824) TEL087-832-3429
7	豚	株式会社 七星食品 (さぬき市)	◆アニマルウェルフェアへの取り組み アニマルウェルフェアに対応した繁殖農場と肥育農場を整備し、オリーブ豚や自社ブランド豚を生産。自社生産の豚肉や加工品の製造販売を行っている。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 大川(内 3818) TEL087-832-3429
8	採卵鶏	有限会社 高島産業 (高松市)	◆鶏卵の機能性表示食品届出 令和 4 年、同社で開発した鶏卵「あらん」を、日本初のルテインが豊富な卵として消費者庁の機能性表示食品に届出し、受理された。生鮮食品の「卵」で届出受理は日本初で唯一。同年から県内量販店や通信販売で販売開始。	畜産課 生産流通 Gr 担当: 大川(内 3818) TEL087-832-3427
9	採卵鶏	株式会社 JA 香川県 フードサービス (観音寺市)	◆香川県産卵の香港輸出ルートの開拓 平成 28 年からアジア市場に新鮮な卵を販売し、特に香港で香川県産鶏卵フェアを開催。生食文化のない国でも安心して食べられる卵を通じて、日本の食文化を広めている。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 大川(内 3818) TEL087-832-3427
10	採卵鶏	有限会社 金江養鶏場 (さぬき市)	◆餌を工夫した特色ある鶏卵の生産、販売 独自で桑の葉などをブレンドした餌を開発し、差別化した「金の桑卵」などの鶏卵を販売している。いち早くインターネット販売に取り組むとともに、産直などでも積極的に販売している。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 大川(内 3818) TEL087-832-3427
11	採卵鶏	農事組合法人 東山産業 (三木町)	◆鶏卵を使った地域色のあるスイーツの開発 養鶏業を営む傍ら、自社の鶏卵と三木町の特産品のいちごを使用した「エッグベリー・フィナンシェ」を開発し、かがわ県産品コンクールで知事賞(最優秀賞)を受賞したほか、鶏卵を豊富に使用したスイーツ等を提供するカフェ及び店舗を運営している。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 大川(内 3818) TEL087-832-3427
12	採卵鶏	有限会社 木下鶏園 (綾川町)	◆特色ある鶏卵の生産、販売 畜産試験場開発の卵用鶏「讃岐コーチン」の卵を安定して生産しているほか、アローカナなど、特色ある鶏種の卵を生産し、販売している。	畜産課 生産流通 Gr 担当: 大川(内 3818) TEL087-832-3427
13	ミツバチ	株式会社 中田養蜂 (高松市)	◆いちご等花粉交配用ミツバチレンタル方式の推進 いちご農家にミツバチをレンタル方式で提供し、使い捨てを避ける取組みを推進。レンタル群の安定供給やフォローアップを行い、品質と安定生産に貢献している。 	畜産課 生産流通 Gr 担当: 瀬尾(内 3812) TEL087-832-3427

3 水産業者

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
1	漁業、 貝類養殖	池田漁業協 同組合 (小豆島町)	◆地元水産物の販売促進、地魚提供 サワラ等の地元水産物を小豆地区の学校給食へ提供するとともに、カキ養殖の販路開拓、ヒジキ、アサリ等の地元水産物の有効活用・販売促進に取り組んでいる。あわせて、キッチンカーを活用した料理の提供も行っている。 	水産課 漁業振興・流通 Gr 担当: 林(内 3949) TEL087-832-3471
2	漁業、 魚類・貝類 養殖	①引田漁業協 同組合・ソルト レイク引田 ②服部水産有 限会社 (東かがわ市)	◆3倍体マガキ養殖・オリーブサーモン養殖 ハマチ養殖発祥の地である安戸池で3倍体マガキやオリーブサーモンの養殖に取り組んでいる。 ① カキ漁場において、水温、クロロフィル等のデータを連続観測し、データの蓄積と解析で、養殖に最適な環境づくりを進めている。 ② オリーブサーモン漁場において、スマホ等で操作可能な自動給餌機および摂餌の様子が分かるカメラを設置し、養殖の効率化を図っている。	水産課 漁業振興・流通 Gr 担当: 林・宮城 (内 3949) TEL087-832-3471
3	魚類養殖	信英水産 有限会社 (直島町)	◆マダイ、サーモン等魚類養殖業へのデジタル技術の活用 マダイ、サーモンの養殖小割に水温等のセンサーやカメラを設置し、スマホ等で漁場環境や水中映像を確認できるようにすることで、養殖管理の効率化を図っている。	水産課 漁業振興・流通 Gr 担当: 林(内 3949) TEL087-832-3471
★ 4	魚類養殖	有限会社 河元水産 (直島町)	◆ハマチ、カンパチ、サーモン等魚類養殖業へのデジタル技術の活用 魚体重推定システム(魚体測定カメラ)を導入し、ハマチやカンパチ、サーモンの魚体サイズや成長状況を把握することで、養殖管理の効率化と出荷精度の向上を図っている。	水産課 漁業振興・流通 Gr 担当: 林(内 3949) TEL087-832-3471
★ 5	貝類養殖	白方漁業協 同組合 (多度津町)	◆海洋観測機器の導入によるカキ養殖漁場のモニタリング体制の強化 漁協が管理するカキ養殖漁場において海洋観測機器を導入し、水温、塩分、溶存酸素量等の海況を継続的に把握。養殖管理の適正化、漁場環境の変化への適切な対応を進めている。	水産課 漁業振興・流通 Gr 担当: 宮城(内 3966) TEL087-832-3471

4 農村の活性化

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
1	棚田	株式会社 山南営農組合 (三木町)	◆地域資源を活用した地域活性化 小蓑地区は三木町南端に位置し、棚田米「小蓑米」をブランド化。平成16年に山南営農組合が設立され、ライスセンターや農村レストランを運営。令和3年には農家民宿とカフェも設立。 希少糖を使った加工品を製造するとともに、酒造会社と連携し、高級日本酒の醸造に用いる良質な酒米を生産。 	農村整備課 農村環境 Gr 担当: 安藤(内 3887) TEL087-832-3879
2	棚田	島ヶ峰の原風 景を守る会 (まんのう町)	◆棚田地域の再生及び活性化 島ヶ峰地区は阿讃山脈を望む山あい位置し、かつての牧場やキャベツ畑は人口減少で荒地化。2016年から地元有志がソバ作りを開始し、約5.0haで栽培。毎年9月下旬にソバの花見会を開催し、多くの見物客が訪れる。 	農村整備課 農村環境 Gr 担当: 安藤(内 3887) TEL087-832-3879

No	分野	氏名	取 組 み	担当課
3	農泊	「Oidemai さぬき田舎 体験」推進 協議会 (中讃地域)	◆教育旅行による外国人誘客 農家民宿3軒、民宿・民泊5軒の計8軒で国内外の教育旅行等の団体を受け入れられるよう協議会を設立。複数の施設が連携することにより、団体の受入れが実現。家庭ごとに工夫した郷土料理を学生・生徒と一緒に調理する体験プログラムを実施し、田舎体験を提供。令和6年12月の設立からこれまでに6校4団体229名の受入れに成功。	農村整備課 農村環境 Gr 担当: 安藤(内 3887) TEL087-832-3879
4	農泊	てしま農泊 推進協議会 (土庄町)	◆農泊を活用した観光誘客 古民家リノベーションの農家民宿「とくと」を中心に、農家民宿8軒、飲食店3軒、漁師2軒で協議会を設立。豊島の自然と食材を活かし、滞在型旅を提案。地元食材を活用し、体験プログラムや情報発信、外国人観光客誘致を行い、年間宿泊者数2,484人を達成。内、外国人宿泊者数は、1,836人の74%。	 農村整備課 農村環境 Gr 担当: 安藤(内 3887) TEL087-832-3879
★ 5	グリーン・ ツーリズム	一般社団法人三木町観光協会 (三木町)	◆地域連携による観光誘客 三木町及び三木町周辺の魅力ある多種多様な食・農業農村文化の認知度向上のため、各実践者の体験プログラムを集約し、三木町観光協会ホームページで総合的に情報発信している。地域住民への魅力再認識や意識醸成はもとより、これまで以上の観光誘客を図り、交流・関係人口の増加を図る取組みを行っている。 令和8年度から三木町観光協会ホームページにて、試験的に体験プログラムを販売開始した。	 農村整備課 農村環境 Gr 担当: 安藤(内 3887) TEL087-832-3879
★ 6	女性グループ活動	東かがわ市生活研究グループ連絡協議会 (東かがわ市)	◆地域資源を生かした消費者との交流 香川東部森林組合の白鳥物産センターの有効活用を依頼され、平成21年4月3日に「東かがわ市生活研究グループの店」としてオープン。グループ員を中心に30名程度が、農産物や、手作りの麺や味噌、おはぎなどの加工品を、毎週金曜日の午前中(8:40~12:00)に販売することで、地域資源を生かした消費者との交流を行っている。	農業経営課 普及・研究 Gr 担当: 山下(内 3752) TEL087-832-3404